

ケアフレンドは介護職員の処遇改善に積極的に取り組んでいます。

(処遇改善加算Ⅰ 特定処遇加算Ⅰを算定)

※具体的な取り組みについては、以下の通りです。

区分	職場環境等要件項目	ケアフレンドの取り組み
①入職促進に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化 <input type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 <input checked="" type="checkbox"/> 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 <input checked="" type="checkbox"/> 職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・理念やケア方針を事業所内に掲示し、ホームページなどでも発信しています。 ・地域の高校や、東京都の就業促進事業などで職業体験を受け入れています。 ・町内会に参加し、地域行事に参加したり、共同で防災訓練をするなど、地域に開かれた事業所を目指しています。 ・他産業からの転職者、中高年齢層、若年層、未経験の方なども積極的に受け入れ、面接をしています。資格取得を応援する制度も整備しています。未経験の方には、まずは介護事業を知っていただき楽しんでもらえるよう、希望する方はボランティアとして等受け入れています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する呼吸吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 <input type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事効果との連動 <input checked="" type="checkbox"/> エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入 <input checked="" type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら介護福祉士取得を目指すスタッフに対して、資格取得支援休暇等の資格取得支援をしています。 ・喀痰吸引や認知症ケア、サービス提供責任者研修への参加を毎年希望する職員の研修受講を応援しています。 ・メンターメンティ制度を導入し、業務以外のことで気軽に相談できるような定期的な面談の機会の確保をしています。 ・キャリアコンサルタント、人事考課制度に伴い年に2回、上司や管理者、役職と目標を立て、フィードバックしていく定期的な面談や相談の機会の確保をしています。
	<input checked="" type="checkbox"/> 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備 <input type="checkbox"/> 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有給休暇が取得しやすい環境の整備 <input type="checkbox"/> 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇、介護休暇、育児休業、介護休業を就業規則に定め、職員の事情や働き方に応じて取得しやすいよう調整しています。 ・年次有給休暇の計画的付与のほか、1時間単位で有給休暇を取得できるよう環境整備をしています。 ・一人の職員が複数の業務をこなせるよう中堅職員がクロストレーニングを受け、誰もが休暇を申請しやすい仕組みづくりをしています。
	<input type="checkbox"/> 介護職員の身体負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施 <input type="checkbox"/> 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 <input type="checkbox"/> 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止委員会等の実施や各種マニュアルの作成。ヒヤリハットや事故報告を全部署で共有し、要因を分析することで再発防止を図っています。 ・介護技術研修をサービス提供責任者が実施し、少しでも介護時の身体負担軽減ができるよう研修をしています。 <p>(腰痛予防研修、腰痛予防体操の定期的な実施を含む)</p>
⑤生産性向上のための業務改善の取組	<input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減 <input type="checkbox"/> 高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化 <input checked="" type="checkbox"/> 5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備 <input type="checkbox"/> 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットやグループ内ネットワーク環境を構築し、記録物の回覧やオンライン会議、情報共有で業務量の軽減、効率化をしています。 ・掃除や消毒のチェック表や担当を決めて職場を清潔に保てるよう工夫しています。
	<input checked="" type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供 <input checked="" type="checkbox"/> ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・部署若くとも月に1回業ミーティングを開催し、コミュニケーションを円滑にし、ケア内容の改善を図っています。 ・グループ全体でもミーティングを行い、各部署が孤立することなく、グループで一体感を持ってコミュニケーションがとれるようにしています。 ・小学校が近く、商店街の一角にもあり、町内会にも所属し、地域の包括ケアの一員として交流の場を設けています。 ・認知症カフェも併設し、地域の方が気軽に立ち寄ってくださった際に、交流をしていくことでモチベーションの向上につながっています。 ・毎月の会議で、ケアの好事例や利用者様、ご家族からの感謝の言葉などを共有し、励まされています。